



「健やかに」
四季の部 銀賞 日野市 内山 義之



天災は必ずやってくる

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

近年、暖冬となることが常態化しているように、この冬も同様に比較的暖かいものでした。といってもやはり朝晩は寒く、なかなか行動に移すことができない自分がいいます。

新たな年を迎え、みな希望を胸に思い思いに過ごしていた元日の午後、突如として、能登半島北部を震源とする大地震が発生し、想像を絶する揺れによる家屋の倒壊や津波により、二百を超える尊い命が奪われました。心からご冥福を祈るとともに、被災地のみなさまには一日も早く、穏やかな日常が取り戻せるよう願わずにいられません。当山においても不動堂前に救援のための募金箱を設置、すでに多くの方からご協力をいただいております。ここに御礼を申し上げるとともに、更なるご支援をお願いいたします。

「天災は忘れたころにやってくる」

このことは科学者で随筆家の寺田寅彦によるとされ、自然災害の被害を忘れることへの危険性を訴えるものとして、わたしたちによく知られています。

ここ三十年を振り返れば、平成七年の阪神淡路大震災、平成十六年の新潟県中越地震、そして平成二十三年の東日本大震災が、その後も平成二十八年の熊本地震、平成三十年の北海道胆振東部地震と続き、今回の能登半島地震と、改めて日本は地震国であることを思い知らされます。また、台風や集中豪雨による水害も毎年のように発生していることを思うと、「忘れたころ」とは油断に対する戒めと心得て、いまはまさに天災を忘れることができない時代、すなわち「天災は必ずやってくる」と、ここに留めておくべきです。

さが読めない今、わたしは事が起きたときには、まずは冷静に状況を確認した上で判断し、つぎにすばやく行動に移すことが肝要であると、自戒を込めて自分自身に言い聞かせています。

お不動さまの心―(一一一〇)― 現代の世相から

廣 澤 隆 之

近頃では飲食の場所選別にインターネットの検索が頻繁に利用されています。近場の駅や料理の種類などを選び検索するといくつもの飲食店が表示されます。そしてそれぞれの飲食店の外観や内装、そして料理の写真を見ることが出来ます。しかも

今までにその店を利用した人たちの感想(いわゆる口コミ)も載っています。店選びをする多くの人はこの口コミを重視しているようです。その口コミも点数化されますので、検索の仕方では人気店のランキングを知ることでも出来ます。

このような飲食店の案内はインターネットの利用が行われる前からありました。その代表格はミシュランでしょう。ミシュランはフランスの多国籍企業である世界最大級のタイヤ会社です。この会社の創業者は二十世紀初頭に、来るべき自動車の普及を見越して、自動車旅行をする人たちへのサービスとして各地のホテルやレストランのガイドブックを発刊するようになり、このガイドブックは普

及し、今では日本のレストランのガイドブックも出版され、そこに掲載されるだけで話題となるほどです。

このガイドブックは表紙が赤いのでレッドガイドとも呼ばれます。それと並行して各地の観光地の見どころを紹介するガイドブックも発刊されています。それは表紙が緑色なのでグリーンガイドとも言われています。

私にはこのグリーンガイドはとて懐かしい思い出があります。かつてドイツに留学していた頃、イタリアなど外国に独りで旅行するときにはこのグリーンガイドのドイツ語版を携帯しました。観光地の歴史や文化財の紹介などの概略を知るのに大いに役立ちました。その懐かしいグリーンガイドの日本版の観光ガイドも今では出版されているようです。私は見ていないのですが、高尾山が選ばれ三つ星の格付けがされたとのこと、登山客は年々増えているようです。

レストランにしる観光地にしる、ミシュランガイドに掲載されたことによって話題となり、その影響が過剰になっているようにも思えます。商業主義が行き過ぎている感じも否めません。人はなぜこれほどまでに格付けが欲しいのか、また権威ある格付けに頼ろうとするのか、人間の心理や行動を冷静に見つめなおす必要もありそうです。

このようなことを考えているとき、興味ある格付け雑誌のあることを知りました。NHKの「驚異の庭園」という番組でも紹介されていた日本庭園に関する格付け雑誌です。この雑誌は日本で造園技術を学んだ建築家と数人の庭園研究者が中心となって編集しているようで、日本の優れた造園や数寄屋建築、そしてそれに伴う日本文化の理解を深めるものです。

この雑誌における日本庭園の格付けは世界各地の造園設計者や研究者の採点の集計で行われるようです。その際に歴史的・文化財的価値だけでなく、実際の造園技術や建物との調和などが特に重視され、およそ一千もの庭園が調査対象となっているようです。

この格付けで二十年の間一貫して一位を獲得しているのが島根県の足立美術館、二位が京都の桂離宮です。NHKの番組では、この二つの庭園を管理する庭師たちの高度な技術をさまざまな角度から紹介していました。足立美術館は収蔵する横山大観の絵画の世界を配慮しつつ、遠方の山並みや木立という自然の景観に人工的な刈り込みを調和させる作庭技術が高く評価された



毘沙門天像・江戸時代

ようです。それに対して桂離宮では木々の刈り込みはせず、樹木の自然な形を保ちつつ、離宮内の建物が自然に溶け込んでいるかのような工夫をするようです。いずれの庭園にしる、庭師たちの四季折々の努力と工夫には驚嘆します。そして自然と人間の技術が調和した美しさに日本庭園の本質があることを思い知らされました。

またこの放送ではアメリカで

日本庭園を造る職人も紹介していました。刑務所に造られた庭園を収監された人たちが整備していました。そして彼らが庭園を眺めたり手入れをする心が落ち着くと言います。刑務所に日本庭園を造ってからは内部での暴力沙汰などは激減したそうです。また病院や老人ホームなどにも日本庭園が造られているようです。心を癒やすのに最適な空間になっているとのことでした。

このように心を癒やす日本庭園が海外で格付けされ、高い評価を得ていることから私たちは教えられることがあります。人知を超えた自然の大きな営みを謙虚に受け入れ、そこに人間の工夫を加えて安らぎの場を造るということ、これは、実は弘法大師の教えを貫く宗教の課題でした。

さまざまに観光地を格付けする背後にも、きつとこのような宗教を求める心が潜んでいるでしょう。日本の文化の奥深さに私たちは気づかないまま見過ごしているかもしれません。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

ご奉納御礼

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和五年十一月一日〜令和六年一月三十一日)

昭島市 (株) エコス
日野市 伊 東 晴 雄

幟旗奉納者芳名

(令和五年十一月一日〜令和六年一月三十一日)

葛飾区 落 合 延 江
世田谷区 (株) H&Mアセットプラス

世田谷区 H&Mサービス
世田谷区 山 中 雅 晶
世田谷区 山 中 晴 湖
板橋区 笠 松 ひろ子

立川市 大 森 光 明
立川市 大 森 久 美 子
二本 日野市 増 茂 典 雄
八王子市 大 熊 健 一
八王子市 大 熊 彰 子

二本 町田市 諏 訪 和 世

相模原市 秋 山 直 子
相模原市 水 希

二本 中央市 佐 野 千 尋

左記ご奉納頂き大変有難く
厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

大提灯奉納者芳名

(令和五年十一月一日〜令和六年一月三十一日)

日野市 土 方 悠 人
日野市 土 方 和
日野市 マジマ塗装
日野市 長 屋 昭 宏
日野市 山 下 雅 臣
昭島市 (株) 和 興
横浜市 藤 田 好 子

一、品名 おいなりさん鈴紐

奉納者 日野市 山 田 雅 之



一、品名 手作り巾着他

奉納者 国立市 佐 藤 ふ じ 子

大覚寺門跡推薦教室 いけばな嵯峨御流

〔第2回〕



盛花「右盛体」嵯峨御流テキスト「ときめきの花」より

当流の盛花は、京都嵯峨野
にあります大覚寺境内の大沢
池と、池中にあります天神島
菊ヶ島、庭湖石の二島一石を
水盤に配置し、景色の風趣を
いけばな様式花です。

約千二百年前に嵯峨天皇様
が離宮を造営なさり、中国の
洞庭湖を模して生まれた日本
最古の人工の池が大沢池です。
春の華道祭、秋の観月の夕べ
では、嵯峨天皇様や貴族の方
々が船上で管弦の遊びに用い
られた、竜頭鰯首船が池上を
滑ります。

今もその当時の姿を残した
大沢池の周りを散策いたしま
すと、見る場所によって景色
の美しさが変化していきます。
その時々を眺めをいけばな
態が、嵯峨御流の盛花の基本
となっております。ですから
いけばな作品には、水盤
の中に広く水面が取られ、水
際の美しさ、植物の持つ自然
の風姿が表出していることが
特徴となっております。

今回は、盛花の基本花態を
応用して自然の景観を模写し
ました景色いけばな「七景」、さ
らに固有の景観をいけばなす、
「三勝の景」を紹介します。

(講師 納富貴甫)

く献花のおすすめ

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただ
いております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・
お護摩札授与・精進料理接待)致します。大
勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名 称 高幡山お花講
一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。





高幡不動尊 フォトニュース

令和六年節分会 豆撒式 タレントの皆さんと 2/3



土方歳三像お身拭い 12/31



令和六年能登半島地震災害募金
真言宗智山青年連合会 1/28



初詣で賑わう参道 1/1



青空に高々と〜文化財防火デー 1/26



豆を撒く祇園の芸妓さん舞妓さん 2/3



日野市社会福祉協議会へ 12/26



賑わうだるま市の境内 1/28



初不動大祭 田中成明先生のご法話 1/28



冬至星祭り うどん接待の様子 12/22



福豆作りのご奉仕～高幡山遍照講の皆様 1/22



一年分の煤を払いました～煤払い 12/13



お守り授与～アルバイトの皆さんの活躍 1/3

春の行事案内

◇三月

○10日(日) フリーマーケット

○17日(日) ござれ市(がらくた市) 〈雨天決行〉

○20日(祝) 春分の日 彼岸会法要〈午前七時〉大日堂

○21日(木) 弘法大師正御影供 〈午前七時〉大日堂

○24日(日) 月例写経会〈午後一時三十分〉

○28日(木) 千体地藏尊月例法要〈午後二時〉

○28日(木) 月例祭(ご縁日)

◇四月

○8日(月) 花まつり

○14日(日) 尚 甘茶接待は四月四日(木)〜八日(月)まで行います。

○21日(日) フリーマーケット

○27日(土) ござれ市(がらくた市) 〈雨天決行〉

○29日(祝)

春季大祭国宝まつり (詳細は次頁参照)

◇五月

○11日(土) 12日(日)

○12日(日) 第二十七回ひの新選組まつり(詳細は十一頁参照)

○19日(日) フリーマーケット

○21日(火) ござれ市(がらくた市) 〈雨天決行〉

○24日(金) 月例写経会〈午後一時三十分〉

○28日(火) 千体地藏尊月例法要〈午後二時〉

○28日(火) 五月大祭

記念公演 午後二時―聴講無料―

講師 フジテレビ「めざまし8」気象防災キャスター

あまた 天達 武史 先生

演題 「天気予報は健康予報

「天気予報の上手な使い方教えます」

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月四日(木)

〜 四月八日(月)

花まつり法要 四月八日(月)午前十一時

お稚児募集

来る四月二十八日(日)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 四月二十八日(日) 午後一時

一、集合 午前十一時三十分(本坊)

一、申込 四月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也

(お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、衣裳料、化粧料、軽食二人前)

一、年齢 三歳〜七歳位まで

一、ご準備 服装自由(しこき紐・細紐を各一本ご持参下さい)

履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。



春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日(土)

大寫経会.....午前九時三十分(客殿三階)

写経奉納大護摩修行.....午前十一時三十分(不動堂)

※記念法話【聴講無料】.....午後一時(塔院大ホール)

講師 大正大学仏教学部准教授

演題 「般若心経」読み書く楽しみ」
阿部 貴子(宏貴) 先生

○四月二十八日(日)

春季大祭国宝まつり 世界平和祈願

稚児練供養大護摩修行.....午後一時(不動堂)

※奉納演芸【入場無料】.....午後三時(塔院大ホール)

柳家 花緑 落語

柳家 花飛 落語

◇賑わいますのでお早目にお出かけ下さい。

※五重塔仏伝彫刻拝観日【拝観無料】

○四月二十九日(祝)

千体地藏尊総回向法要.....午前十一時(千体地藏堂)

※記念講演【聴講無料】.....午後二時(客殿二階洋間)

講師 法政大学名誉教授 馬場 憲一先生

演題 「江戸時代の高幡山金剛寺と門前百姓」

※奉納神輿練り(地元愛好会奉仕)

出店 がらくた市(骨董市) ほか

春季大祭国宝まつり
奉納演芸(四月二十八日)



柳家 花緑



柳家 花飛

千体地藏尊総回向法要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日(祝) 午前十一時から

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥加料 金貳千円也(但、お札料)

◎ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円(二体)を添えてお申し込み下さい。



大寫経会のお知らせ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大寫経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日(土) 九時三十分

一、会 場 高幡不動尊客殿

一、会 費 金五千円也

一、募集人数 先着一五〇名
(含写経奉納金、昼食代「精進料理」、記念品)

一、日 程

受	付	9:00分
		より
客殿集	合	9:20分
写摩修	行	9:30分
大護納	式	11:30分
写経主	授	12:15分
貫食	食	13:00分
記念法話		

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで
TEL 〇四二一五九一―〇〇三二番(代)

山内消息

煤払い

十二月十三日、職員全員により不動堂にて読経後、お不動様のご真言をお唱えしながら堂塔や仏様の一年の煤を払いました。いよいよ年末、新しい年となり御信者様をお迎えする準備が大詰めとなります。(伊大知記)



AED講習

AED講習

十二月十四日、AED講習が行われました。日野消防署隊員の皆様へAED使用、応急救護について御指導いただきました。日頃から緊急事態に備えることの重要性を再確認する機会となりました。

星まつり

十二月二十一日冬至、不動

堂にて星曼荼羅をご本尊とし星まつり大護摩供が勤修され大勢の方がご参拝されました。法要後は冬至うどんが振る舞われ、三〇〇食用意したうどんは完食となりました。

(杉田周記)

牛王宝印可

一月十五日、年に一度行われる牛王宝印のお授けがありました。牛王宝印とは、重要文化財のお不動様と同じ木材で作られており、身体安全、無病息災に御利益があるとされ、特に頭痛に良いと伝えられております。この日、不動堂においてお護摩に参列された方々に牛王宝印をお授けしより一層お不動様と御縁を結んでいただきました。

(佐竹智記)

総本山御一行来山

一月十八日、総本山智積院より芙蓉良英宗務総長をはじめ内局の皆様総勢八名が、新年の挨拶に来山されました。大護摩修行に参列され、宗内の安全を御祈願されました。その後高尾山へと出発されました。

(松本記)

文化財防火デー

一月二十六日、今年も防火演習が日野消防署、地元消防

団、商店会、自衛消防隊等合同のもと行われました。役割ごとに事前に指導して頂いて本番に臨みますが、毎年少しずつ新しくなり、新鮮な気持ちで取り組みます。また、一斉放水の場面は何度見ても圧巻です。万が一に備えての演習ですが、一番は常日頃の火の元の確認が重要であると改めて思いました。(五十嵐記)

豆煎式

一月三十一日、節分の福豆を煎る豆煎式が執り行われました。天候にも恵まれ多くの参拝者が集まる中、参加したわかくさ幼稚園の園児達に元気一杯豆を煎って頂きました。その後不動堂にて、数えの九十九才を迎えた園長先生の高らかな「福は内！」の後に続き、元気な声が境内に響きわたりました。(丸山幸記)



総本山内局ご一同様

春季大祭記念法話

日時 四月二十七日(土) 午後一時から

会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)

講師 大正大学仏教学部准教授

阿部 貴子(宏 貴) 先生



・演題

「般若心経

読み書く楽しみ」

春季大祭記念講演

日時 四月二十九日(昭和の日) 午後二時から

会場 客殿二階洋間(聴講無料)

講師 法政大学名誉教授

馬場 憲一 先生



・テーマ

「江戸時代の

高幡山金剛寺と門前百姓」

各 種 募 金 総 計 表

(令和6年2月25日現在)

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(17回)	7,100,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大洪水救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(25回)	7,500,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
西日本豪雨災害義援金	(1回)	1,000,000円也
令和元年台風15号・19号災害義援金	(1回)	1,000,000円也
ウクライナ人道危機救援金	(1回)	500,000円也
2023年トルコ・シリア地震救援金	(1回)	500,000円也
2024年能登半島地震災害救援金	(1回)	3,000,000円也
総 計	(124回)	101,647,319円也

募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、四五五万円になっております。

五月大祭記念講演

・日時 五月二十八日(火) 午後二時から

・会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)

・講師 フジテレビ系列「めざまし8」

気象防災キャスター

天達武史先生

・テーマ

「天気予報は健康予報

上手な使い方

教えます」



青葉まつり記念法話

・日時 六月十五日(土) 午後一時から

・会場 大日堂(聴講無料)

・講師 川崎大師平間寺法務部法務課

渡部純哉先生

・演題

「童話から学ぶ

人生の教え」



節分会

本年も多数の年男様にご参加頂きました。特別参加された方は、遼河はるひさん、つのだ☆ひろさん、徳重聡さん、寺泉憲さん、藤原浩さん、其原有沙さん、宍戸マサルさん、岩崎愛子さん、稲村なおこさん、二〇二四ミス日本各受賞者の皆さん、ハローキティの皆様方です。

タレント 遼河はるひ
晴天の下、大勢の皆様にお越し頂いた中、年男男女の方々と一緒に福をお届けする事ができ、とても光栄でした。
華やかな高幡山金剛寺様での豆まき、ぜひ又参加させて頂きたいです。ありがとうございました。

歌手 つのだ☆ひろ
つのだ☆ひろの仕事初めはこの高幡不動尊節分会からです。新しい気持ちと共に皆様に福を撒き、新しい年のはじまりです。この一年皆様と共に健康で過ごせるよう願っています。

おります。

俳優 徳重 聡

お忙しい中皆様ご参加頂きありがとうございます。私も皆様から元気を沢山頂きました。または是非参加させて頂きたい。



俳優 寺泉 憲

笑門来福！今年は元旦から大地震、飛行機事故等の悲しい幕開けでしたが、本日快晴に恵まれた節分会で福豆をまくことが出来て幸せです。福は内！

歌手 藤原 浩

コロナは落ち着きましたが今度は元旦から暗いニュースばかりです。福をたくさん祈願します。感謝合掌

プラットガール 其原 有沙

今年は土曜日ということもあり昨年よりも沢山の方が来て下さいました。私はプラットガール二年目ということで練り歩きの際に「いつも『あいぱりー』見てます！」などの声が聞けてすごく嬉しかったです。マスクもほぼなくなり、皆様の笑顔で私も元氣をもらいました。

歌手 宍戸マサル

今回はじめて故郷である日野市の高幡不動尊様にて節分会に新☆ハッピー&ブルー宍戸マサルとして参加をさせて頂いたことができてまして大変嬉しく思っております。

歌手 岩崎 愛子

いつも一緒に活動している日野市観光協会の皆様、福袋を販売しながら掛声をかけてくださり嬉しかったです。

二〇二四年が皆様にとって健康で幸多き一年となりますことを祈念しております。

元NHK歌のお姉さん

稲村なおこ

「節分豆撒式」に初めて参加させて頂きました。「福は内〜」福豆が飛び交う中、

たくさん笑顔を咲く境内。生まれ育った高幡不動の地に感謝の気持ちでいっぱいです。多くの皆さまに「福」が訪れますように…

二〇二四ミス日本「水の天使」

安井 南

人生初めての豆まき、皆様に福を与える立場であることとても光栄でした。大きな声でとても楽しかったです！

二〇二四ミス日本みどりの天使

二〇二四ミス日本ミス着物

安藤きらり

豆まき、とても楽しかったです。大勢の方が集まり、外国の方と一緒に「福は内」を言えて嬉しかったです。ありがとうございました。

二〇二四ミス日本「海の日」

有馬 佳奈

「鬼は外、福は内」とよく言いますが、良い年にはそもそも厄はないという考えを初めて聞きました。今回の豆撒

き会では「福は内」のみを言うのはそういった意味なのか

なと思いました。一番驚いたのは、お客さんの多さです。たくさんのお客さんが袋を持って笑顔でお豆をキャッチしようとしていて、こちらも楽しかったです。みんなが笑顔になれるステキな行事ですね。



二〇二四準ミス日本

石村 彩華

来てくださった皆様が笑顔で出迎えてくださり、とてもあたたかい気持ちになりました。福をお届けすることで、私自身も福に包まれているような気がしました。すてきな機会をいただけて幸せです。ありがとうございました。

能登半島地震の お見舞いを申し上げます

一月一日発生した石川県能登地方を震源とする地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興をご祈念致しております。
合掌

第二十七回ひの新選組まつり開催

ひの新選組まつりが二日間
にわたり盛大に開催されます。
内の特設サイトにて随時お知らせ致しております。

五月十一日(土)
「隊士コンテスト」
於、高幡不動尊

五重塔特設会場
五月十二日(日)
「隊士パレード」
於、甲州街道
日野宿周辺会場

他にもイベントの開催を予定
しております。詳細は
日野市観光協会ホームページ



境内の春の植物をお楽しみ下さい



ロウバイ



フクジュソウ



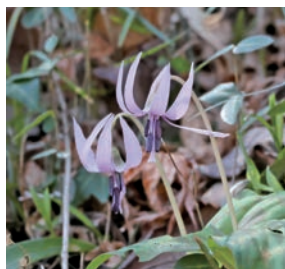
ヒサカキ



エビネ



コブシ



カタクリ



シャクヤク



ミツマタ



シャクナゲ



シダレザクラ



ヤマブキ



シャガ

諸行事に参加して

牛王宝印印可(1/15)

世田谷区 齋藤 清子

莊厳なお堂の中に居ながらも音の楽しさを感じてしまいました。温かい雰囲気の中、少々の時間だけでもリフレッシェ出来ました。

名古屋市 澄川 幸子

出張の予定を延ばしてお参りさせていただきました。牛王宝印をいただけてありがたかったです。境内もとても心地良く長居してしまいました。

日野市 中村 臣子

暗さの中の莊厳、紫、緑のころもが光るように美しく、神秘的な空間に満たされ、心洗われるような、日常のわずらわしさから抜け出るような一瞬の清まる思いでした。感謝

稲城市 柳 直美

迫力満点の御経を真近に拝聴、拝見出来ましたこと大変有難うございました。日々手を合わせて感謝し、正直に誠実に生きるという大切な気持ち

ちを改めて意識する機会になりました。

稚児行列(1/28)

日野市 宮城 咲希

化粧、着付け共にとても丁寧にご対応いただけました。子供はとても恥しそでしたが、とても良い経験をさせていただきました。控室はともにも広く、ゆっくりできました。

横浜市 上田 朔矢

いつも参加させていただいております。いよいよ今回が最後となり、たくさん思い出が詰まったお稚児さんとなりました。親子共にとても貴重

重な体験をすることができて心から感謝しています。

名古屋市 矢野 友晴

長男の時にお参りして、次男も同じ所だと、愛知県から参りました。近所に住んでいたのも、とても懐しく良い時間でした。

川崎市 伊藤 麻紀

良い経験をありがとうございました。子供にとっては待つ時間が長かったかもしれませんが、最後に着物・飾りと直して頂き助かりました。子供は「お不動様の近くまでお着物で行けた」と喜んでいました。日頃とは違うこと、お手伝い頂きながらできたこと、日々追われる毎日なので親子で良い思い出となりました。

三鷹市 伊藤 萌

初めての参加でした。化粧着付の方々、皆様とても親切にしてください三才の子も楽しく参加することができました。境内では沢山の方々に声をかけていただき、とても貴重な体験でした。七才まで毎年参加させていただけたらと思っています。

豆煎式(1/31)

わかくさ幼稚園 秋山 光

幼稚園のご縁で初めて豆煎式に親子で参加させていただきました。御護摩を静かに見る子供の引き締まった表情が印象に残りました。お参りした後も大きなしゃもじでお豆を煎って、そのお豆で「福は内」〜と元気な声の豆まき！思わず笑顔になりました。貴重な体験をありがとうございました。

わかくさ幼稚園 田辺 香帆

お堂の中に入ったのは初めてで、大勢のお坊様が一緒にお経を読む姿は迫力がありました。不動明王にお参りする



お稚児さんに変身中

時に、手のひらにチョンとお香をつけてもらったのですが不思議な香りで、娘は「お坊さんの仲間になった気がしたよ」と話していました。お坊様が抱っこしてくれて、大きなしゃもじでお豆を煎るのもとても楽しかったそうです。最後に子供達が「福は〜うち〜！」と元気に豆撒きするのを見ながら、たくさんの福が我が家にもやって来るといふなあと思いました。なかなかできない素敵な体験をありがとうございました。

わかくさ幼稚園 杉田れいら

幼稚園に入園し、年少の頃から年長になって参加できるのを楽しみに、この日を待つ



大きなしゃもじでお手伝い



お稚児さんのお練り

ていました。豆煎式の前に子供達が不動堂の内陣に入っていたとき、大護摩修行をお行儀良く正座してお祈りしている姿を見て、とても成長を感じました。毎年、初詣で煙を浴びる香炉で豆を煎ることも初めて知りました。節分近くになると京王ストアに売られている祈禱豆はどのように作られているのか不思議に思っていたので、今回娘の参加によってわかり、良かったです。一人ずつお坊さんに抱っこされて豆を煎らせていただき、中々できない貴重な体験を卒園前にできて、子供達にとっても心に残る素敵な思い出になったと思います。

アルバイト



一足早く「福は内！」

高宮 仁美

高幡不動尊でのお手伝いは初めてだったので、どのような仕事を行うのか不安に思っていました。職員や経験者の先輩方のご指導、サポートのおかげで年始の目まぐるしい忙しさも乗り切ることができました。ありがとうございました。

内山 楓子

この度は大変お世話になりました。お寺で働くのは初めてだったので最初はとても緊張していたのですが、とても素敵な上司と同僚の皆様には

まれ、楽しく仕事をする事が出来ました。また、仕事を通じてお客様と接する中で正しい敬語や礼儀を身につけることが出来ました。お守の種類や値段を覚えるのが大変だった時もあったのですが、そのような時は優しく教えて下さる上司や同僚の皆様のおかげで出来ました。春からは社会人になるのですが、高幡不動尊で学んだことを活かして頑張りたいと思います。ありがとうございました。

朝倉 千賀

高幡不動尊のアルバイトを通して将来就きたい職業に向けて大切なことを学ぶことが出来たと感じます。今年で三年目でしたが、学年や専攻が異なる学生が多くいるため価値観が大きく広がったように思います。また、礼儀や挨拶、言葉遣いなど社会で生きていく上で大切なことを身に付けることが出来ました。信者さんからの「ありがとう」の言葉や笑顔を見ることが出来、充実した年末年始を過ごすことが出来ました。今回学んだ

こと、感じたことを活かして目指す将来像に向けて頑張っていきたいと思います。また、地域の方々との交流から学んだ人の温かさを忘れずに、これから成長していきたいと思っています。

長友 玉緒

去年はじめて高幡不動尊でアルバイトをし、今年も働くのを楽しみにしていました。お寺でのバイトは、仏教の知識や知らなかったことを沢山知れて新鮮で面白いです。お坊さんと職員さん、他のアルバイトさんとお話するのも楽しいです。元旦は忙しかったですが、色々な仕事をするうちに新しい一年が始まるワクワクを感じられました。短い時間でしたが、思い出も友達も沢山でき、成長できたと思います。豊かな経験ができて良かったです。

常楽会 (2/15)

八王子市 高井美智子

大目堂での涅槃会の唱和の数々に心の内が洗われてゆくようでした。ここ二三日、悩

み事に振り回されておりましたが、お釈迦様が助けてくれたと思います。

稲城市 澤村 陽佳

常楽会のお参りができ、お釈迦様のご生涯についてお話を聞くことが出来て有難く思います。周りの人から「お前はダメだ」と言われても、お釈迦様のアドバイスに集中して修行したシュリハンドクのお話をこの法話のタイトルと重ね合わせると、お釈迦様の教えとは「自分自身と出会うこと。清らかな心を持った本当の自分に出会え」ということなのかな?と思いました。厳かな法要にあずかり、涅槃の徳に少しでも近づきたいと感じました。



小林深佑先生 (常楽会ご法話)

奥殿だより 第七回

高幡不動尊の古写真

奥殿の展示室17には、「写真で見える昔の高幡不動尊」のコーナーが設けられており、当山に所蔵されている古写真の中から選んで、大きく拡大して展示しております。

現在は、一月の初不動に合せて、昭和二十八年（一九五三年）及び昭和三十三年（一九六三年）の初不動大祭の写真を展示しております。

多くの露店が出て、老若男女ご参詣の人数が多かったことが見てとれます。



初不動大祭昭和二十八年（一九五三年）撮影

山高幡やベレー帽などの帽子をかぶっている人が多く見られますが、当時流行っていたのでしょうか。

仁王門が見えますが、現在の山のように二層ではなく、修理前は一層であったことが分ります。

次にご紹介するのは、明治時代に境内を撮影した写真二枚です。

以前、「写真で見える昔の高幡不動尊」のコーナーで展示したことがありますので、ご覧になった方もおられることと思います。



不動堂明治三十年代撮影



金剛寺境内(仁王門、不動堂、大日堂玄関)明治四十年頃撮影

これらの写真は、明治後期の当山の様子をよく伝えております。「金剛寺境内」写真には、拡大しないと分かりませんが、仁王門の左側に人力車が停まっております、更にその左には、露店の物売や茶店があることが分ります。

当山には写真の他に、当時の境内の様子を伝えるものとして、明治三十年（一八九七年）作製の「武州南多摩郡高幡山金剛寺全景」図の銅版があります。その銅版を使用して印刷した刷物と共に、展示室15に展示しておりますから、ご覧になった方も多いものと思います。



「武州南多摩郡高幡山金剛寺全景」銅版



「武州南多摩郡高幡山金剛寺全景」刷物
右の銅版を使用して新しく刷ったもの(明治期に刷られた物を探索中)

ここに紹介した明治の古写真と「武州南多摩郡高幡山金剛寺全景」図は、ほとんど同時期のものと言って良からうと思いますが、境内の樹木の様子や山門の形状が若干異なっており、また写真には見られない仁王門左右に続く柵が、「武州南多摩郡高幡山金剛寺全景」図には見られます。

写真とは異なり、絵画や絵図に描かれている風景はそれを描いた作者が実際に見た風景を写実的にそのまま描いたものばかりではありません。

作者が自らの頭の中で整理し、再構成して描いたものである場合が多々あります。同じ場所でも同じ時期に撮影あるいは描かれた写真と絵画に、相違が見られることは何ら不思議なことではありません。だからといって、絵画や絵図が価値がないわけではありません。

写真は、撮影されたその時の状況をよく伝えてくれます。現在、当山所蔵の古写真の整理を進めておりますが、戦前や戦後直ぐの時期のものなどが不足しております。当山関係の古写真や絵画、絵図をお持ちの方がおられましたら御一報ください。(藤井和夫記)

高幡いきもの晏茶羅 ②⑥

「あなたが生きている意味を教えてください」という問いを發すると、即座に「遺伝子を未来に伝えること」という答えが返ってくるかも知れません。高幡不動尊の境内には様々な生き物がいますが、動物・植物にかかわらず当然のように子孫を残すための営みを行います。

翻って私たち人間は生物的な遺伝子よりも「情報」を未来に伝える事に執心しているように思われます。政治経済を問わず、芸術に至るまで人間の生み出した「情報」が地球上に溢れかえっています。僧侶が法要でお唱えするお経も「情報」であり、それを効率的に伝え広めるために「仏教」のシステムが發達してきました。

さてここで自然豊かなお寺の境内に目を向けると、生き物と人の営みが混然一体となり調和した様子が立ち現れることでしょう。しかしそれはたまたま幸運にもその状況が存在するだけであって、地球環境の変化によっていとも簡単に崩れ去ることを忘れてはなりません。人間の生み出す「情報」ほど脆く壊れやすいものはありません。しかし「いきもの」は何度も再生を繰り返しながら進化を続けていくのです。それこそが「生きる意味」ではないでしょうか。

なにげなくつかっている仏教のことは——三密（さんみつ）

新型コロナウイルスの流行の対策のひとつとして、換気の悪い【密閉空間】・大勢が集まる【密集場所】・間近で会話をする【密接場面】の三つの密、いわゆる

三密を避けることが推奨されたことは、いまだ記憶に新しいことと思います。

わたしたち真言宗では、如来の（からだ）ことば（こころ）のはたらきを順に身密・口密・意密といい、合わせて三密と称しています。

わたしたちの本性は如来と平等であると、真言宗では教えています。それ故、手は合掌

し、口にご真言をお唱えし、自己と如来とは平等一体である心と心に観ずることにより、如来の三密と相応一体となつて、仏と成ることができるとされています。

（小林靖典）



アカガエル



ハクセキレイ



キジバト

お不動さま教えて？

ご質問 お不動さまへは機会があるごとにお参りし、お護摩にもよく参加しています。お護摩の法要は、お導師さまのお護摩の焰と、僧侶によるご説経と太鼓とが渾然一体となっており、いつもその厳肅さによって、法要後はとても充実した気持ちになります。ただ、幾度となくお護摩に参加していると、法要でどのようなお経が唱えられているのか、また、その意味内容はどのようなものなのか

が知りたいと思うようになりました。どうかお不動さま教えてください。



錫杖

はい、お答えします。当山のお護摩法要の次第は、つぎのようになっています。

錫杖經 祈願文 理趣經 百字の偈 觀音經の偈 般若心經 不動明王の真言 諸祈願 大金剛輪陀羅尼 一字金輪の真言 三帰礼文

それでは、これらの内容を順に

お話ししていきたいと思っています。

《錫杖經》 煩惱により迷界にて輪廻を繰り返す衆生を、錫杖を振り唱える音と声をもって、迷いから目覚めさせ、仏の世界へと導くためにお唱えするお経です。

その内容は、まず、さとりを求める心を發し、仏（仏宝）と教え（法宝）と信仰を共にする者たち（僧宝）、すなわち三宝に対して供養すべきことが説かれ、つぎに、自らは修行に邁進し、同時に他に對しては、すべての衆生の苦しみを取り除き、樂を与えることを誓い、それには錫杖を振る音を聴かせて、人はもとより、動物などの生きとし生けるすべてのものも済まれ、みなが仏と成ることができようであろうと説かれています。

《祈願文》 つぎに、ご信徒の願いごと成就するために、ご本尊不動明王に祈り願うところを申し上げるものです。

その内容は、当山に鎮座されている不動明王のいわれとご威徳をたたえ、その上で、ご信徒の名前と願いごとを高らかに読み上げるものとなっています。

（次号につづく）

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友お誘い合せてご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、巡 拝 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)
- 一、会 費 四九、六〇〇円(七回分)分割納入も可
(納経料・バス代・保険料等を含む)
- 一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内「龍華会」まで

電話 〇四二五九一〇〇三二番

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、彼岸会・花まつりなどの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集します。大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
- 一、稽古日時 毎月二回、午後一時から

問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」

電話 〇四二五九一〇〇三二



きんようちうらいへんしょうせん
歸命頂礼遍照尊

ぐせ ひがん ちよお
救世の悲願に催され

ぬぼく そう げん
奴僕の相を現じつつ

しん たも
信ずるものを守り給う

げんぜりやく ふどうせん
現生利益の不動尊

「不動和讃」

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し二日・十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金三、〇〇〇円也
金五、〇〇〇円也

金一〇、〇〇〇円也

(大護摩)金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)
尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

啓蟄の頃となり木々の芽吹きが一段と進んできたように感じます。境内の梅の花付きが例年より大分少なく更に温暖化の影響でしょうか。

巻頭言「天災は必ずやってくる」とおり肝に銘じて準備を怠らないようにしないとイケないですね。

春からの各種行事も通常開催で行ないますので是非共にお掛けください。

一心廻向震災物故者精霊
一心祈願震災復興

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山

高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042)591-0032(代)
FAX (042)593-3038

発行人 黒川 高德

年4回発行・再生紙使用